

動画で伝えるAI「スマートアバター®シリーズ」開発元 伝力に拘り、紙から動画によるコミュニケーションの新未来を創造

事業名 : 1950年 第一創業 有限会社古川写真印刷工芸社
2006年 第二創業 有限会社BOND
2012年 動画で伝えるAI_製品化販売開始

代表取締役 : 古川ひろ美 (前職：グラフィックデザイナー)
資本金 : 1000万円
所在地 : 福岡県北九州市小倉北区西港町122番地の10
<https://f-bond.co.jp>



オンライン購入サイト



受賞歴

2013年 マサチューセッツ工科大学日本分科会主催第13回MIT-VFJ優秀賞 (一位)
2014年 キャロラインケネディ駐日大使表彰・日本政策投資銀行コンペティション表彰
2015年 経済産業省 自治体×ベンチャーマッチングイベント佐賀県賞。
2016年 福岡県新商品認定・北九州市トライアル発注認定商品認定
2017年 福岡県ベンチャーマーケット2017特別賞
2019年 第31回 中小企業優秀新技術・新製品賞 奨励賞受賞

ウィルス感染予防や災害時、少子高齢化対策など、状況変化に踏まえた適時適切な情報を人に接触せず、誰でも簡単迅速に作成発信できる「画期性」。簡単にネット上に動画を発信しあえ用途が無限大になる「拡張性」。コミュニケーションの弱者が伝達力を補いえる「社会性」が、各種コンペティションで高く評価された。

BOND製品の概要

独自のAI(人工知能)を開発し、事前学習がなく、文字や画像入力程度で、簡単迅速に動画コンテンツを作成・配信・双方向対話を実現する各種「動画で伝えるAI (スマートアバター®シリーズ)」を開発。47か国語機械翻訳・文字読み上げ機能まで搭載しており、文字や画像入力でも、PowerPointデータからでも、データ自動連携でも作成できる。

人に接触せず商品説明・受付案内・研修・外国人対応・音声メッセージ・デジタルサイネージ・インターネット動画・SNS広告などで繰り返し活用され、業務の効率化・情報周知・意思疎通の課題解決など、ウィルス感染予防や深刻な人材不足を補うツールとして期待が高まっている。

BONDの新規性、革新性及び優位性：各種特許取得済

●通信環境とデバイスの発達普及により何時でも何処でも動画の視聴可能な環境が整い、今後更に動画広告や配信サービスの市場が急成長する(ネット上に利用者が集まる)中、BONDは先行して「**伝達力を補う表情や仕草の創造と人の感情に関わる高度な技術**」に拘り、スマートアバター®シリーズ(AI)の開発に挑んでいた。

●世界中に注目される「Japan-Animationのかわいらしさ」をコミュニケーションインターフェースに応用し、**入力された文字や画像だけで表情や仕草をつけながら発声したり、カメラワークなど総合演出を自動で行う人工知能(AI)は他にない。**

●この独自AIを活用し、**万人が極めて簡単に(事前学習も要せずに)番組作成、変更を可能とする製品は他社になく画期的なもので、開発者向けの組込み用ツールもあり、ユーザーインターフェイスとしての期待も高い。**